

引き揚げ船3隻、攻撃され犠牲

追悼の演奏や歌披露

札幌で22日 事件から65年

終戦直後、サハリン(旧樺太)からの引き揚げ船3隻が留萌沖で旧ソ連の潜水艦に攻撃され、1708人が犠牲になった事件から65年を迎える。

22日、札幌市で「三船殉難慰靈追悼コンサート」が開かれ。追悼の演奏や歌のほか、脚本家の倉本聰さんが自ら作った詩を朗読したビデオ映像も上映される。

3隻は小笠原丸、泰東丸、

第二新興丸。終戦から1週間後の1945年8月22日、引き揚げ中に攻撃を受け、小笠原丸、泰東丸が沈没し、第二新興丸が大破した。

コンサートは、水中写真家の田中正文さん(51)＝洞爺湖町＝らでつくる「1708プラス実行委員会」の主催。戦争が原因で道内の海域で沈んだ船の調査や慰靈などの活動をしており、事件を風化させ

ず、後世に伝えようとの願いを込めて企画した。田中さんは「犠牲者の思いをくみ取り、悲劇を未来の平和のための英知とするためにも、事件を多くの人に知ってほしい」と話す。収益は沈没現場の留萌沖で、コンサートの模様を収録した音声を流す費用に充てる。

コンサートには、伊達市の作曲家・ピアニストの太田亜紀子さんら道内外の演奏家や歌手約10人が出演。倉本さんは自作の詩を朗誦する約5分間のビデオ映像で出演する。戦争をテーマにした倉本さん作・演出の舞台「歸國」に、田中さんが写真映像を提供した縁で実現した。コンサートは22日午後2時から、札幌市西区の「コンカリーニョ」で。入場料2千円(中学生以下千円)。問い合わせは太田さん(090・5951・0319)へ。